

市民意見募集(パブリックコメント)結果

「和歌山市デジタル田園都市構想総合戦略(案)」に対するご意見を募集した結果、2件のご意見をいただきましたので、次のとおり公表します。

■募集案件の概要

募集案件	「和歌山市デジタル田園都市構想総合戦略(案)」
受付期間	令和6年10月1日～令和6年10月31日
ご意見の件数	1名・2件

■ご意見の概要と市の考え方

No	ご意見の概要	市の考え方
1	<p>学校給食の無償化について、現在附属小学校と智辯小学校も無償化の対象となっておりません。市外・県外から通学する子どももいるので一律に出来ず面倒、学校の中での不平等などの問題もあるでしょうが、市民でないと言われていたようで、転居しても転校不要なメリットを活かし、子どもが小中学生の間に高校無償化となる阪南市など通学圏の大阪府内に転居するケースも増加すると思います。附属小学校や智辯小学校へ通わせているから必ずしも裕福なわけではないです。経済的負担の軽減をうたうのであれば市立国立私立に関わらず市民平等をお願いします。</p>	<p>学校教育法では、義務教育諸学校の設置者が学校給食を実施するとしており、学校給食を無償とするか否かについても、地域の実情等に応じて、各学校の設置者が判断すべきものと考えます。そういったことから、今回の無償化についても、設置者が市である市立小学校を対象に、設置者の判断として無償化を進めることとしたため、国立・県立・私立小学校等については対象としておりません。なお、和歌山県においても給食費無償化事業への支援を実施していますが、公立学校を対象としており、附属小学校と智辯小学校を対象としていません。</p> <p>本市としましては、給食費の無償化は、国が実施すべき事業と考えますので、今後も県と協力しながら、国への要望を実施してまいります。</p>

2	<p>「デジタル田園都市構想総合戦略」とありますが、デジタルの戦略の部分があまり見えません。「デジタル実装を通じて地方が抱える課題を解決し、誰一人取り残されず全ての人がデジタル化のメリットを享受できる心豊かな暮らしを実現する」ことを目的とされており、農林漁業のデジタル化や ICT を活用した教育の推進はなんとなくデジタルが地方の課題を解決というのに繋がるように感じますが、他の ICT 企業誘致、都市計画、防災対策、福祉の充実などは、とりあえずデジタルとつけただけに見え、デジタルをどう活かして現状を良く変えていくのかがわかりづらいです。「まち・ひと・しごと創生総合戦略」から大して変わらないのではないのでしょうか。</p>	<p>「和歌山市デジタル田園都市構想総合戦略」は、これまでの「第2期和歌山市まち・ひと・しごと創生総合戦略」の取組を継承しながら、地方創生の取組を加速化・深化するために策定するものになります。これまでの基本目標は継続しつつ、デジタル技術や、世界的に高まる脱炭素の取組、高まる民間主導のまちづくりとこれからを担う人材育成の推進、公と民のネットワークの構築等、デジタル技術の活用に限定せず、時代の潮流を捉えた新たな施策を実施し、人口減少の危機を乗り越え発展し続けるまちを実現することで、「働きたい、住みたいと選ばれ、誰もが住み続けたい、魅力あふれるまち和歌山市」を目指すための計画となっています。</p>
---	---	--